

別記様式（第3条関係）

開催記録

名 称	第4次総合計画・組織機構改革町民懇談会
開催日時	令和7年7月22日（火） 午後7時から午後8時45分 令和7年7月23日（水） 午後7時から午後8時30分 令和7年7月24日（木） 午後7時から午後8時 令和7年7月26日（土） 午後1時30分から午後3時
開催場所	会津美里町新鶴生涯学習センター視聴覚室 会津美里町役場 本庁舎 大会議室 会津美里町本郷生涯学習センター研修室A・B 会津美里町役場 本庁舎 大会議室
出席者	新鶴会場 10名、高田会場①9名、本郷会場2名、高田会場②5名 計26名 事務局：政策財政課 渡部課長、栗城課長補佐、鈴木係長、星主任主査 総務課 平山課長、高橋課長補佐、大竹係長
議 題	(1)町第4次総合計画について (2)組織機構改革について
資料の名称	【資料1】町第4次総合計画について（概要） 【資料2】組織機構改革について（概要）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
内 容	
<p>参加者からの主な質問・意見と事務局の回答</p> <p>●新鶴会場 令和7年7月22日（火）</p> <p>(参加者)</p> <p>第3次総合計画の総括は実施したのか。第3次総合計画と第4次総合計画の中身がだいぶ違っている。新鶴地域の住民としては、第3次総合計画の取組により新鶴地域がどういう結果になったか、よくなったと考えているのか、悪くなったと考えているのか、総括してほしい。新鶴地域は商工会もなくなり商店も少なく、商工業が衰退していると思う。</p> <p>(事務局)</p> <p>令和7年度は第3次総合計画の最終年度であるが、第4次総合計画の策定にあたっては、当然これまでの振り返りや検証を行って課題を整理した。</p> <p>総合計画は地域ごとの計画ではないため、新鶴地域に限定した振り返りというものはない。</p>	

商工会については、支所というかたちで3地域にそれぞれあると承知しており、産業振興課でそれぞれの地域の賑わいづくりの計画策定に向けて動いており、高田地域では昨年度策定し、本郷地域では今年度策定を進めているところである。

(参加者)

高田・本郷・新鶴の3地域の特色を出す戦略を総合計画に位置付けるべきではないか。例えば、本郷は本郷焼、高田は神社、御田植祭り、新鶴は農業・グリーンツーリズム等。

(事務局)

第4次総合計画では、「地域ごとの特色を活かした持続可能な地域づくり」というのを新たな重点プロジェクトとして位置付けている。

(参加者)

子育て支援について、町は子育て支援に力を入れていると言うが、町の取組の実感が沸いてこない、というのも保護者には具体的な取組が見えないから。例えば登校時クマが出た場合、どのように対応しているのか。

(事務局)

以前は、教育委員会において臨時のスクールバスを出していたと認識している。

(参加者)

今年からは、保護者の判断により送迎することとなった。具体的な取組の内容が分かるようにしてほしい。

(事務局)

今回お示ししたのは総合計画の概要であり、基本計画の部分では、おもな事務事業まで掲載するので御確認いただきたい。

(参加者)

今後、新鶴こども園を民営化する予定はあるのか。

(事務局)

教育委員会部局の所管なのでここでは明確な回答は差し控えるが、現時点ではその予定はないと承知している。

(参加者)

民営と町営で取扱いが異なることを懸念している。高田から本郷に通わせる等の状況があると聞いている。

(事務局)

通わせる地域について一定の基準はあるが制限はなく、保護者の通勤等の事情により個別に判断されているものと認識している。

●高田会場 令和7年7月23日(水)

(参加者)

生涯学習部門は、首長部局に移管するのか、それとも教育長部局でやるのか。

(事務局)

町全体で進める生涯学習はこれまでどおり教育長部局で実施する。各地域の生涯学習センターについては首長部局に移管し、地域づくりを担うコミュニティセンターとして、活用の幅を広げる考えである。

(参加者)

若い世代に選ばれる町との記述について、アンケートにおいて年代別に居住の意向を確認して設定したのか。

(事務局)

LINEによるアンケートについては、そもそもサンプル数が少ないため、年代ごとの集計・分析まではやっていない。

(参加者)

会津西陵高校は町内唯一の高校として、重要な役割を担っていると認識している。近年は探求学習等で地域とのつながりを持つようになってきているが、町内には生徒たちが放課後等に活動できる場所や集まれる場所が少ない。また、通学手段が限られるといった課題がある。

(事務局)

西陵高校生には、探究活動や各種計画策定での意見聴取、選挙の立会人など、様々な場面で関わっていただいているところである。やはり、町としては若い世代が将来も地元に残れる選択肢を用意することが重要だと考えている。今後もいろいろと高校生と連携した取組をしていきたい。

(参加者)

本郷に新しく大きな公園を作る計画があると聞いている。そんな大きな公園を作る余裕があるのであれば、近所の小さな公園の遊具を充実させてほしい。滑り台やブランコひとつでもいい。大きな公園を作っても夏場は暑過ぎて、冬場は降雪で利用できない期間もある。どうせ作るなら冷暖房が整備された屋内施設（体育館など）のほうがよい。

(事務局)

アンケート等でもそういった意見があることは承知している。町民のみなさんの意見を伺いながら進めていきたい。公園については、児童公園、農村公園、都市公園、大小さまざまあるが、それぞれの所管ごとに維持管理や整備を進めていると認識している。

(参加者)

将来像の「10年後選ばれる」の10年後というのはあまりにも悠長ではないか。今すぐでなくてよいのか。10年後という文言は削除すべき。

(事務局)

総合計画は10年間の取組なので、段階的に進めていくもの。あくまで、10年後の目指すべき姿として表記している。10年後まで何もしないわけではない。審議会でも了承いただいております、このままでいきたい。

(参加者)

若者に選ばれるという割には、若者向けの施策が少ないのではないかと。

(事務局)

施策3産業の分野の雇用の創出やスタートアップの支援という部分や5の地域づくりの分野でも結婚の支援など、若者向けの施策はある。

(参加者)

地域おこし協力隊は、賑わい創造課(仮称)の所管になるのか。まちづくり推進課(仮称)が望ましいと思う。

(事務局)

詳細な事務分掌については現在検討中なので、御意見として承る。

(参加者)

基本計画が前期・後期に分かれているのはなぜか。

(事務局)

必ずしもこうという決まりがあるわけではなく、他の自治体でも多く採用されている一般的なスタイルなので、それを採用した。基本計画については、10年間同じよりは、5年で見直しを図る方がよいという考えでそのようにしている。

(参加者)

ふるさと納税の活用をもっと明記すべきでは。

(事務局)

計画では大きく打ち出してはいないが、財源確保や関係人口創出のため、ふるさと納税の拡大に力を入れていく。

(参加者)

山間部の集落で人口が少ない所があるが、自治区の再編等は考えているか。

(事務局)

住み慣れた地域で暮らしたいという思いがあると認識している。そこは尊重しなければならないため、半ば強制的な集落移転のようなことは今のところ想定はしていない。自治区の枠組みを変えるだけで問題が解決するわけではないが、今後は地域と話し合いながら進めていく必要がある。

(参加者)

施策 1-3 防災・防犯で、近年の猛暑や酷暑も自然災害という見解もあり、熱中症対策が重要である。明記してはどうか。

(事務局)

総合計画というよりは個別の計画に入っていくのと思うが、まだ国・県の計画にも明確に位置付けられていない状態。

(参加者)

この懇談会の意見は公表するのか。

(事務局)

町民参加手続きであり、公表予定である。

●本郷会場 令和7年7月24日(木)

(参加者)

将来像「もっと・ほっと・ずっと」は良いテーマ。ウェルビーイングについても、よくわかった。

(参加者)

組織機構改革について、出張所になることでサービス低下の懸念があったが、実態に合わせた名称変更とのことで理解した。また、生涯学習センター機能について、なくなるのが心配だったが、学習も含めて地域の拠点になるということで安心した。

(事務局)

御意見として承る。

●高田会場 令和7年7月26日(土)

(参加者)

P13 目標人口の根拠はなにか。

(事務局)

人口ビジョンの推計に基づき、社会減及び自然減における一定の抑制を加味して設定した。各施策、取組における具体的な数値の積み上げではない。

(参加者)

P20 ワークショップの意見で、小学生のあいさつがよいとあるが、自分の経験上、中学生のほうがもっと良いと思う。

(事務局)

そこはあくまで、ワークショップ参加者の主観によるものと御理解いただきたい。

(参加者)

アンケートの方法について、ラインによるアンケートでは高齢者等が対応できないのではないかな。

(事務局)

アンケートも様々な手法を組み合わせる実施していく。

(参加者)

健康ふくし課は大きいので、分けた方がいいのではないかな。職員も30人以上？健康福祉施策をもっと目に見えるかたちで拡充してほしい。

(事務局)

大きいから、人数が多いから分けるということではなく、業務の関連性や効率的・効果的な推進体制という視点で考えるべきものと認識している。

(参加者)

昨年総合計画ワークショップに参加したが、計画にワークショップの意見が反映されていてよい。

昨年度から児童クラブが教育委員会から健康ふくし課へ移った。児童クラブは教育施策と一体ではなかったのかな。

(事務局)

児童クラブには教育的側面もあるが、おもには子育て支援の施策。令和6年度に健康ふくし課内にこども家庭支援室が設置されたのに伴い、そちらの所管に移した。

(参加者)

本郷や新鶴は支所から出張所になることで、不便になることはないのかな。人員は減るのかな。支所と本所をテレビモニターでやり取りすることはできないのかな。本郷は若松方面からは入口なのに、なぜ出張所なのかな。出張所というと、僻地のイメージが強い。名称を変えるべき。

(事務局)

人員については、まだ決まっていないが、現状と同程度と考えている。支所と本所のモニターによるオンラインのやり取りについては、技術的には可能な状態になっているが、あまり利用者がいない。出張所というのは、まちづくりセンター（仮称）内に設置される機能なので、その名称が前面に出るわけではない。

(参加者)

なんでもやる課のような住民にとってワンストップの窓口が必要ではないかな。行政はどうしても縦割りになりがち。

(事務局)

住民目線で可能な限りそういう体制を目指していくべきとは考えているが、どうしても取り次ぎしかできない場合もある。そういう場合であっても住民の方になるべく不便をおかけしな

いような体制にしていかなければならないと考えている。

以上